

「ならなぎ」活動報告

報告者： 玉尾 洋一

日時	2025年12月7日(日) 13時～15時半	天候	晴れ	歴史文化チーム定期活動 於：音声館
案内団体または催事名	仏像鑑賞入門第5回目		人数	大人： 15名

(敬称略)

出席者：中谷、木邨、玉尾洋、中澤、山口、池田、北川、玉尾ひ、寺尾、嶋田、豊田、樋口、義田、上森、山岡

実施内容：13時～15時半 座学

●深掘り発表 13時～13時45分 北川さん

- 日本の怨霊について
第2回目

井上内親王と白壁王結婚までの出来事・経緯を説明

- ①聖武太上天皇死後、光明皇后と仲麻呂が実権を握る
- ②橘奈良麻呂の乱、仲麻呂が治める
- ③淳仁天皇が即位
- ④光明皇后が死去し、仲麻呂の勢いが衰える
- ⑤道鏡の出現→淳仁天皇廃帝→称徳天皇重祚
- ⑥道鏡、法王となるが、宇佐八幡宮の神託事件で、窮地に立ち、称徳天皇崩御により追いやられる
- ⑦白壁王が即位し、光仁天皇となる

次回より井上内親王の怨霊の話となる。こうご期待！！

<https://naranagi.jp/kaihatsu/onryou2.pdf> (資料)

●仏像鑑賞入門第5回目 13時45分～15時半 中澤講師

<https://naranagi.jp/Kaihatsu/siryou251207.pdf> (資料)

- 東大寺法華堂

法華堂と戒壇院は地理的に高台にあり、戦災をまぬかれた。法華堂は東大寺が出来る前からあったと言われている。2010年に須弥壇の解体修理が行われその時に年輪年代調査で729年の資材が使われていることが判明。733年創建は正しいと思われる。現在の法華堂は礼堂と正堂からできているが、礼堂は鎌倉時代に建てられたもので、正堂が天平時代だ。天平時代には仏像を納めるだけで、拝むのは外からと決まっていた。もともと法華堂には18体の仏像がひしめき合っていた。2011年にミュージアムが出来て、8体を移動して、現在は10体が祀られている。

- 不空検索観音立像 <https://naranagi.jp/butsuzou/index23.html>

雑密経典「不空羂索神変真言经」に「目は3つ、腕は8本あり、体には鹿皮をまとう」とある。これを日本に持ち帰ったのが玄昉だ。雑密はインド発祥の密教。バラモン教の影響を受けている。不空羂索観音は「摩けい首羅天」に似ており、シバ神をもとにしている。

目に特長があり、上脛は直線で下脛は曲線となっている。白鳳時代は反対であり、天平時代の特徴である。

- 執金剛神立像 <https://naranagi.jp/butsuzou/index24.html>

12月16日しか拝むことができない秘仏である。古代インドではヴァジュラパーニと呼ばれる密教の神様でガードマン的な存在。西洋のヘラクレスもインドに入るとヴァジュラパーニとなる。天平時代のオリジナルな色彩が残っている。

- 阿修羅像 <https://naranagi.jp/butsuzou/index25.html>

光明皇后が母美千代のお堂西金堂を建てた際に自分に似ている阿修羅を造らせたという逸話がある

が、実はもともとは郡山にある額田部寺のものであった説がある。大江親道は「七大寺日記」に八分衆は額田部寺にあったと記している。また平安時代の書物「扶桑略記」には、西金堂の八分衆は 180cm あったと書いている。(現在のは 150cm で、燃えたので、額田部寺のを拝借した?) 阿修羅だけでなく他のも皆特徴を持っており、じっくりと観て欲しい。

●次回開発勉強会「仏像鑑賞入門」6回目。P. 139 金剛力士像～

日時：1月11日（日）13時～

場所：音声館

以上

(気になった点、引継ぎ事項)